



志賀草津道路の規制解除

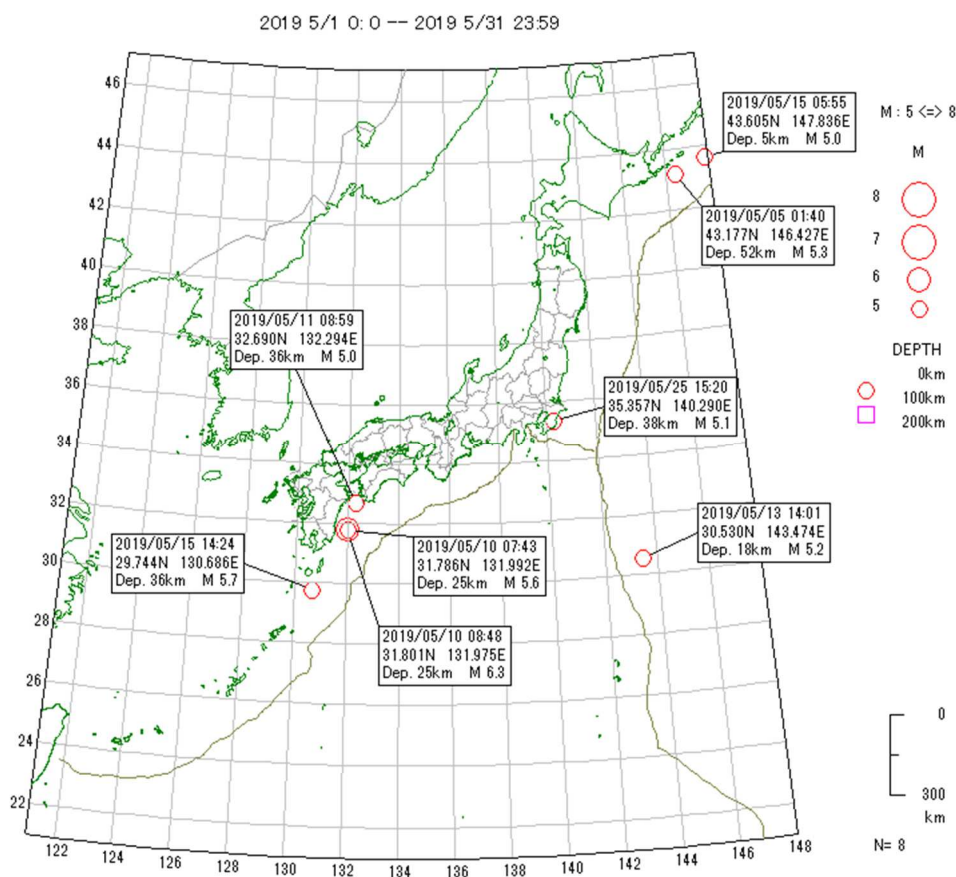
群馬県は5月30日に、草津町と長野県を結ぶ観光ルート^①の志賀草津道路(国道292号)の全線を再開通することとしました。草津白根山の白根山の火山性地震の増加を理由に今月18日から一部区間(約8.5キロ)を通行止めとしていましたが、安全の確認ができたとして解除されました。

ちなみに箱根大涌谷の立ち入り規制はいましばらく続きそうです。

2019年5月の地震活動概観

2019年5月に日本列島およびその周辺海域では、マグニチュード5を超える地震は8個発生しました。目立ったのは日向灘での活動です。日向灘では、3月にもマグニチュード5を超える地震が複数個発生しています。また4月には沖縄から台湾にかけて活動が活発化し、4月18日には台湾でも被害地震が発生しました。

南海トラフ沿いの地震活動は3月以降、これまでとは少し違う状況になってきたとも考えられます。



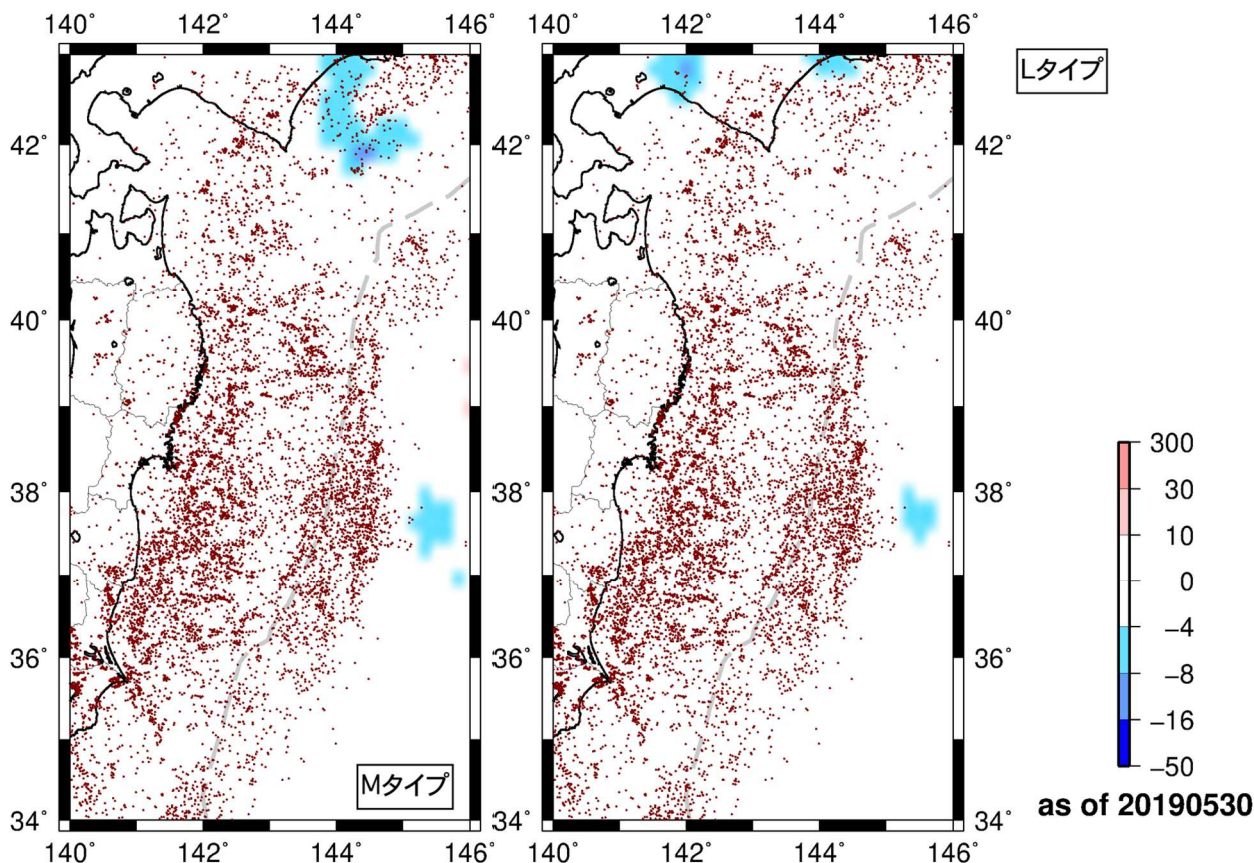
2019年5月に発生したマグニチュード5以上の地震(8個)



東北地方海域の地下天気図®

4月22日のニュースレターに引き続き、東北地方沖合の海域で発生するマグニチュード7クラスの地震に特化した解析です。次に示します地下天気図は5月30日時点のMタイプ(左側)とLタイプ(右側)です。

図中の茶色の点は2011年夏以降の解析に使用したすべての地震の発生位置です(震央)。宮城沖に共通の青い地震活動静穏化の領域が出現していますが、この地域では、もともと地震活動がほとんど観測されない地域であり、この静穏化は計算上出現した精度の低いものです。それに対し、北海道周辺に出現している異常は今後推移を注目していく必要がありそうです。

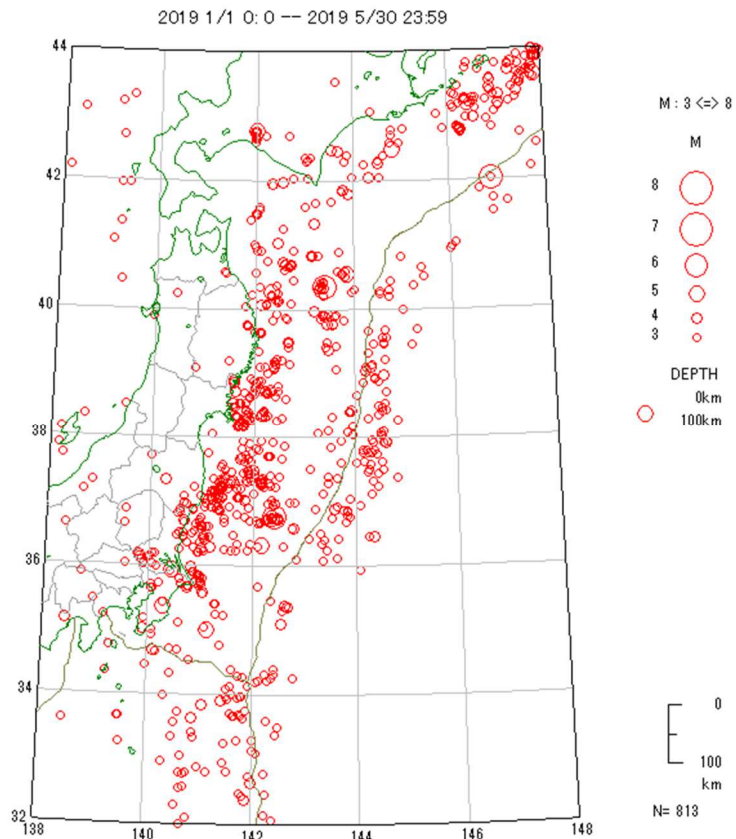
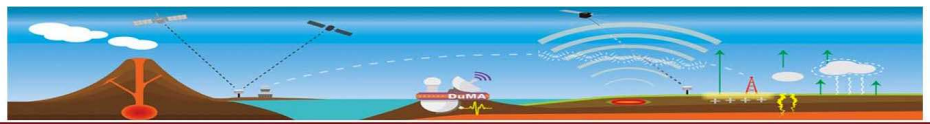


東北沖での地震活動も少し変化？

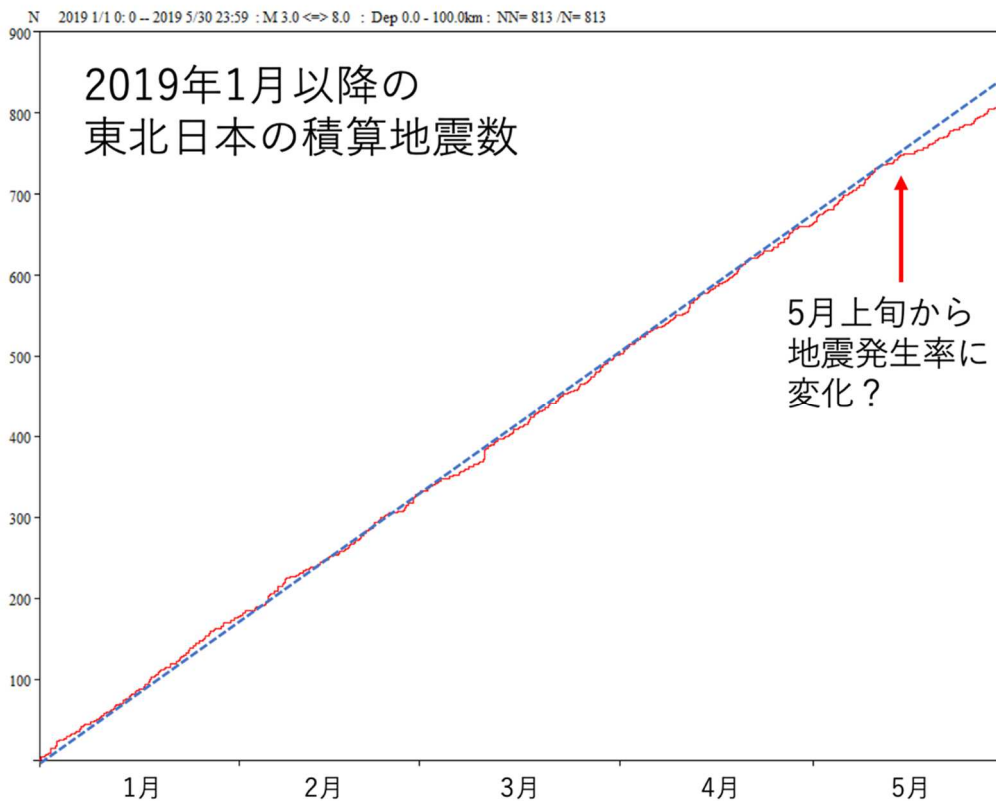
先週のニュースレターで関東地方でも地震活動が少し変化し、関東地方西部で地震活動の静穏化領域が出現した事をお伝えしましたが、どうも東北沖でも少し状況が変化してきたようです。

次のページに今年1月以降のマグニチュード3以上のすべての地震の空間分布とその地震の発生数を積算したグラフをお示します。

明らかに5月上旬から近似の直線から、実際の地震発生数のグラフが下側にずれているのがわかります。これは地震活動が低調になったという事を示しています。



2019年1月以降の東北地方の地震活動。マグニチュード3以上の地震をすべて図示



赤実線が実際の地震発生数。青点線は最もフィットする直線

5月上旬(10日頃?)から地震発生数がそれまでより少なくなって、直線からズレてきている